

1990年代・2000年代から「いま」を考える ～歴史に学ぶ現代社会のしくみ5～

現在の日本社会のしくみや常識とされているものは、なぜ、いつから、このようになっているのでしょうか。この講座では、それを考えるために、日本の戦後の歴史を振り返ります。

5年目の今年度は、バブル崩壊後から2010年までの時期を、当時の資料を手がかりに見つめます。今まで受講していない方も、どうぞご参加ください。

日時 1月17日・31日、2月14日・28日、3月14日・28日
各土曜日 10時～12時10分

場所 柳沢公民館視聴覚室
対象 市内在住・在勤・在学者
定員 60人(申込順)
講師 戸邊 秀明 (東京経済大学全学共通教育センター教授)



	月日	テーマ
1	1月17日(土)	時代の概観：希望と失望の試行錯誤、その渦中で実際に起きていた変化
2	1月31日(土)	「戦争の記憶」が解凍する時
3	2月14日(土)	アジアとの直面と混淆
4	2月28日(土)	変わる日米関係と沖縄
5	3月14日(土)	地域と労働の変貌
6	3月28日(土)	喪われた20年が見失ったもの

※事前に配布する資料をお読みになって、ご参加ください。
※講座のない土曜日も、参加自由の懇談会を行います。
※講座終了後、希望者で映像資料を観る予定です。

申込 12月5日(金)午前10時から電話か申込フォームで柳沢公民館へ

<電話> 042-464-8211

<申込フォーム>右の二次元コード、またはURLから

【URL】<https://logoform.jp/f/13D90>



【問合せ】 西東京市柳沢公民館 電話：042-464-8211

講師紹介

戸邊 秀明 (とべ ひであき) さん

東京経済大学 全学共通教育センター教授

【専門分野】 沖縄近現代史、特に戦後の復帰運動史の研究。他に戦後日本の歴史学の歴史も研究。

【略 歴】 早稲田大学大学院文学研究科博士課程、早稲田大学第一文学部助手、日本学術振興会特別研究員を経て現職。早稲田大学・東京大学等でも非常勤講師を務める。

【主な論文・編著等】

- 論文「沖縄「占領」からみた日本の「高度成長」(『岩波講座 東アジア近現代通史8 ベトナム戦争の時代 1960-1975年』岩波書店、2011年刊)
- 論文「沖縄戦の記憶が今日によびかけるもの」(成田龍一・吉田裕編『記憶と認識の中のアジア・太平洋戦争—岩波講座アジア・太平洋戦争 戦後篇—』岩波書店、2015年)
- 共編著『触発する歴史学—鹿野思想史に向き合う—』(日本経済評論社、2017年)
- 論文「沖縄と現代世界」(『岩波講座 世界歴史22 冷戦と脱植民地化I 20世紀後半』岩波書店、2023年)
- 論文「東西冷戦下の東アジア、沖縄と日本」(鈴木淳ほか編『日本史の現在6 近現代 2』山川出版社、2024年)